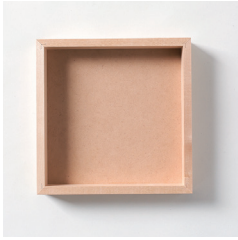




飾り方：壁に掛ける

掛け紐・ダルマ穴無し製品



裏面形状：フレーム枠のみ水平タイプ

対象製品

cotowa パネル 重量：88～493g

キャンバスプリント 重量：140～750g

フォトリョーシカ 重量：86～440g

おすすめツール

使用した跡が比較的小さめなピンタイプの商品をご紹介します。
ピンはステンレス製を選ぶと錆びにくいのでおすすめです。

ツール選びのポイント

- ✓ 飾りたい壁の素材に取り付け可能か
- ✓ 対象製品の厚みとツールの長さ（奥行き）が適しているか
- ✓ 対象製品の重さとツールの耐荷重が適しているか

アイワ金属 プッシュフック

入数：2個 耐荷重：1kg/1個あたり
石膏ボード、板壁に取り付け可能。
ピン一本で簡単に取り付けできます。
針穴は斜めに刺さるため画鋲の針穴より若干大きめです。

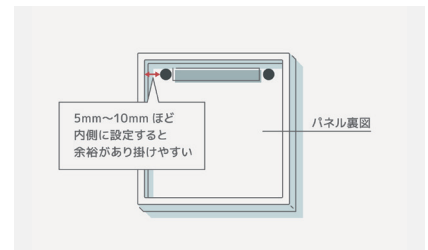
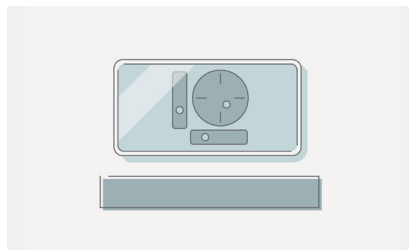
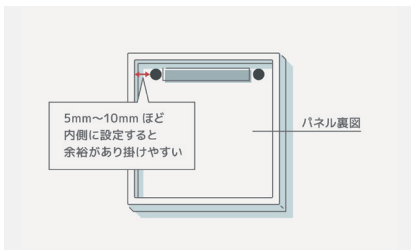


ベロス ダルマボードピン

入数：5個 耐荷重：2kg/1個あたり
壁に対して上向きに傾斜して刺さるため、
定番のダルマピンより耐久性に優れています。
針穴は画鋲程度の大きさです。



飾り方のポイント



① 2点留めの位置決め

2点留めは耐荷重がUPし、2点の幅が大きいほど対象物が安定するのでおすすめです。2点の留める位置(●)を決め、その幅の長さのマスキングテープを用意します。

② 壁の位置決め

壁にマスキングテープを水平に貼ります。水平を正確に測るには水準器やスマートフォンの無料アプリが便利です。

③ 壁にピンを留める

マスキングテープの左右にピンを留めます。マスキングテープをはがしてから対象物を飾ります。

ダルマ穴製品



裏面形状：穴あきタイプ

対象製品

フォト Deco ライト 重量：230～1199g

フォト Deco ミルフィーユ 重量：340～620g

おすすめツール

ピンやねじはステンレス製を選ぶと錆びにくいのでおすすめです。

ツール選びのポイント

- ✓ 飾りたい壁の素材に取り付け可能か
- ✓ 対象製品の厚みとツールの長さ（奥行き）が適しているか
- ✓ 対象製品の重さとツールの耐荷重が適しているか

—— オリジン工業 ぴったり掛フック

入数：2個 耐荷重：3kg / 1個あたり
石膏ボード、ベニヤの壁に取り付け可能。
2本のピンをトンカチで打ち込んで固定します。
針穴は斜めに刺さるため画鋲の針穴より若干大きめです。



—— ペロス ダルマボードピン

入数：5個 耐荷重：2kg / 1個あたり
壁に対して上向きに傾斜して刺さるため、定番のダルマピンより
耐久性に優れています。針穴は画鋲程度の大きさです。
壁穴は小さいですが、本ダルマ穴製品を使用するとお辞儀するように若干傾きます。
傾きを直す方法は下記「壁から浮いて傾いてしまったら」をご参照ください。



—— ステンレス製ねじ

ホームセンターで1本あたり数十円で購入ができます。推奨するねじについてご説明します。

形状：先の尖ったもの

種類：ドリリングタッピンねじ（軽天ねじ） → 石膏ボード用

1種タッピンねじ（Aタッピンねじ） → 一般的なタッピンねじ、木材、ハードボード、薄鋼板（1.2mm以下）用

長さ：約20mm（10mmほど壁にねじ込むと想定）

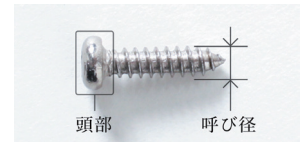
太さ：呼び径 3.5mm～5mm程度 → 5mmは弊社仕様のダルマ穴に最適です。壁穴が気になる方は3.5mmがおすすめです

頭部形状：どの形状でも使用は可能です。但し、「小頭」は外径が小さいためダルマ穴へのひっかかりが弱くおすすめしません

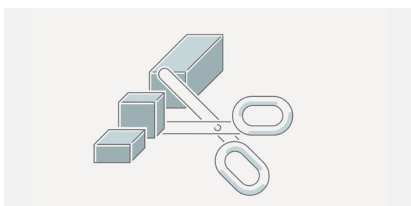
使用方法：ドリリングタッピンねじ、タッピンねじの場合

① キリヤドリビットで下穴をあけます。※ねじ径に対して約70%～95%程度の細めの穴が適しています。

② 下穴にねじをねじ込みます。※10mm以上ねじ込んでください。

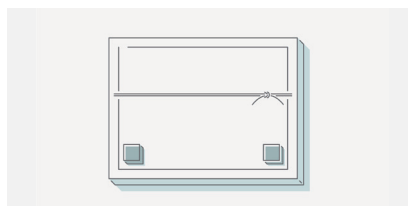


飾り方のポイント



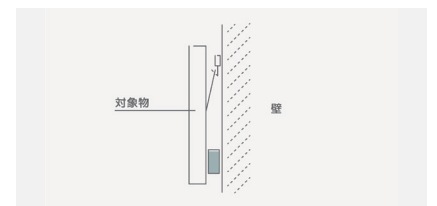
① 浮いた高さに合わせ補助具を準備

ゴムやスポンジ素材のものを傾きが直る
くらいの厚みにカットします。



② 位置決めして補助具を配置

裏面の下側左右に両面テープで取り付け
ます。少し内側に貼るのが見た目をきれ
いにするポイントです。



③ 製品を設置

壁に飾って完成！対象物と壁に適度な隙間
ができるため、壁の傷つけ防止や通気性ア
ップの効果も期待できます。

掛け紐製品



裏面形状：金具に紐を通したタイプ

対象製品

cotowa フレーム 重量：930g

アクリルプレート 重量：175～575g

おすすめツール

使用した跡が比較的小さめなピンタイプの商品をご紹介します。
ピンはステンレス製を選ぶと錆びにくいのでおすすめです。

ツール選びのポイント

- ✓ 飾りたい壁の素材に取り付け可能か
- ✓ 対象製品の重さとツールの耐荷重が適しているか

—— オリジン工業 らくちんフック（シルバー）

入数：2個 耐荷重：5kg / 1個あたり

石膏ボードやベニヤの壁に使用が可能。工具が不要で簡単に
取り付けできます。3本の針でしっかり固定されます。斜め方
向に刺さるため針穴は若干大きめです。

cotowa フレームにはこちらのフックが付属されています。



—— 東洋工芸 ハイパーフックかけまくり カラーフックミニ

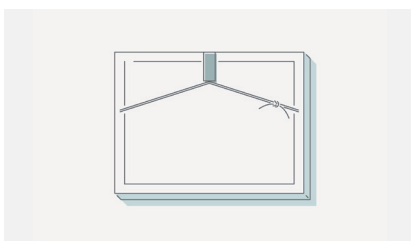
入数：5個 耐荷重：2kg / 1個あたり

壁に対して上向きに傾斜して刺さるため、定番のダルマピンより
耐久性に優れています。針穴は画鋏程度の大きさです。



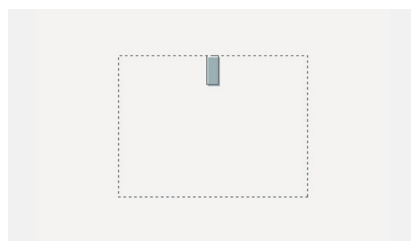
アクリルプレートは壁に飾るとフックが見えます。
ご了承ください。

飾り方のポイント



① 紐のゆるみを想定する

紐をほどけないようしっかりと結びます。
フックへかけた際にゆるむことを想定し、
フレーム上部と紐の頂点の間の長さのマ
スキングテープを用意します。



② 壁の位置決め

飾りたい位置を決め、対象物の上側セン
ター位置にマスキングテープを貼ります。



③ 壁にフックを留める

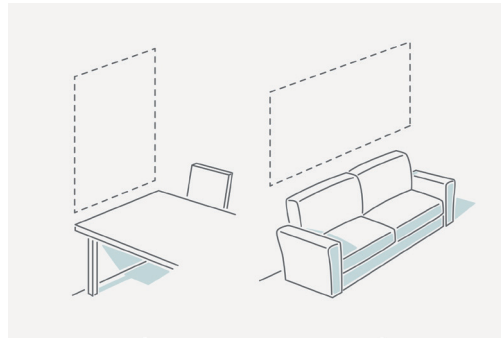
マスキングテープの最下部とフックの最
下部の位置を合わせ、フックを壁に取り
付けます。

オシャレにみせる レイアウトのポイント



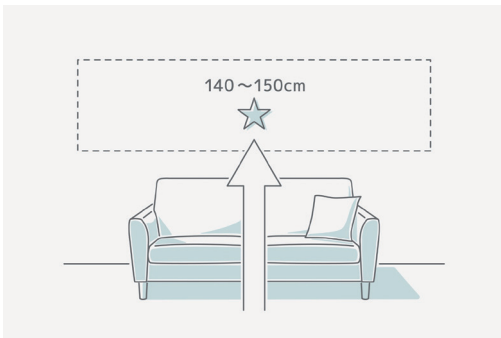
1：場所

空いている壁どこにでも飾るのではなく、インテリアの見せ場に絞りましょう。家具の上は配置しやすくおすすめです。例：ソファ、キャビネットなど



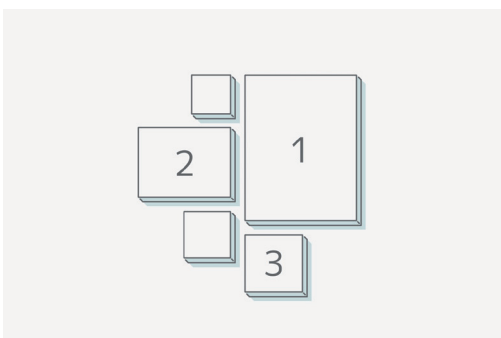
2：形

空間の形を意識してレイアウトするとおさまりが良くきれいに仕上がります。例：縦長の空間→縦長に配置
横長の空間→横長に配置



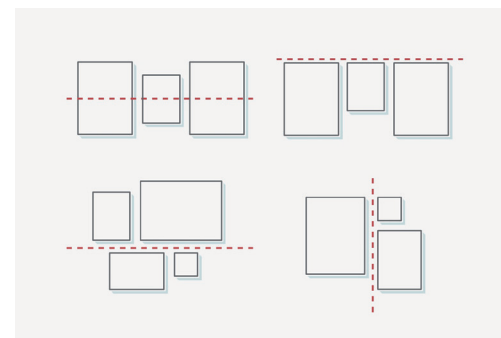
3：高さ

目線の高さを意識し、床から140～150cmを目安に中心(★)がくるよう配置するのがポイントです。



4：複数飾る場合1

大きいサイズのものから配置するとバランスがとりやすくなります。



5：複数飾る場合2

縦、横、中心などラインを揃えるよう意識して並べると良いでしょう。また、写真と写真の間隔を揃えるときれいに仕上がります。

●作業のコツ

マスキングテープや糸を使い、ライン(赤い点線)のガイドを作ると便利です。

壁穴は怖くない！
飾ったあとのアフターケア



写真を外した後、
残っているピンの穴が気になる…
そんな方も安心して飾ることができる
壁穴のアフターケアの紹介です。

おすすめツール

あいた穴に詰めるだけ!
お手軽で便利な補修パテ商品の紹介です。

ツール選びのポイント

壁紙のカラーと補修パテのカラーが合っているか
使用する壁素材(石膏ボード、木壁など)に適しているか



ハウスボックス
穴うめ職人 クロス用 3本セット
ホワイト系3色が入った安心セット。



建築の友
クロス穴うめ材スーパー
熱膨張材で自然な膨らみまで再生可能。



ボンド
ウッドパテ
熱膨張材で自然な膨らみまで再生可能。

基本的な補修方法 (例 穴うめ職人 クロス用 3本セット)



① 穴に補修パテを埋める。



② 付属のヘラで整える。



③ 乾いたら完成。